

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月20日

計画の名称	都市活力の向上を支援する“富士”のみちづくり												
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	富士市												
計画の目標	広域交通拠点である新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間のアクセス性を向上させることにより、人・物の広域交流を促進させ、まちの魅力向上や産業の活性化など都市活力の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,338	A	2,338	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)
1	新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間の移動円滑化率を61%から80%に向上させる。 新幹線駅及び東名・新東名ICと地域拠点間の移動円滑化率 移動円滑化率(%)=(移動円滑化された道路延長/移動円滑化が必要な道路延長)×100	61%	%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		R01	R02				R03	R04	R05					
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	新設	(都) 左富士臨港線 (青 葉台工区)	道路新設 L=425m	富士市	■					33	—	
	A01-002	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	新設	(都) 左富士臨港線 (青 葉台東工区)	道路新設 L=487m	富士市	■	■	■	■	■	849	—	
	A01-003	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	新設	(1) 一色小沢3号線	バイパス L=500m	富士市	■	■	■	■	■	308	—	
	A01-004	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	改築	(他) 木島松野線	現道拡幅 L=120m	富士市				■	■	35	—	
	A01-005	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	改築	(2) 居村上下川原線	現道拡幅 L=404m	富士市			■	■	■	169	—	
	A01-006	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	新設	(1) 本市場大淵線 (大 淵上工区)	道路新設 L=230m	富士市			■	■	■	577	—	

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	新設	(他) 柳島広町 9 号線	道路新設 L=400m	富士市					■	■	367		—
											小計							2,338		
											合計							2,338		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	99	174	98	28	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	99	174	98	28	
前年度からの繰越額 (d)	0	50	77	46	
支払済額 (e)	49	147	129	74	
翌年度繰越額 (f)	50	77	46	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	3	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	1.71	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

